2018年 生のコトバ





日本大学 法学部

夢への挑戦

最終合格先

警視庁警察官 I 類·神奈川県警察官 A 東京消防庁消防官 I 類·横浜市消防局大卒程度(4付合格)

受講コース

メディア

校舎

総合本科生

教室+Webフォロー講座 4月入学

水道橋校

▶警察官を目指したきっかけ・理由

幼い頃から道路を颯爽と走り、取り締まりを行う白バイ隊員に 憧れを持っていました。大学生になり、中学で仲の良かった友人 をバイクの事故で亡くし、悲惨な交通事故によって悲しむ人を一人 でも多く減らしたいと強く思い、警察官を目指しました。また、採 用説明会やインターン、所属する防犯ボランティアでの活動を通 し、地域の安全・安心のために影でたゆまぬ努力をする警察官の 存在を知り、憧れが目標に変わったことも警察官を目指した理由 の一つです。

► TAC を選んだ理由

大学の野球の先輩が TAC に通っており、教材やレジュメを見せ ていただいた際に大変分かりやすく、私もここで勉強したいと思っ たことがきっかけです。また、通いやすさ、講師の方の熱心さ、 充実してフォロー制度に魅力を感じ、体験入校を通しTACへの入 校を決めました。

▶教養試験対策

高配点の数的処理は、毎日5問でも良いので、継続して解き続 けること大切だと思います。ただ解いて答え合わせをするのではな く、問題に応じた解法の手順やポイントを1つのテーマごとに押さ えながら解くことをおすすめします。

また、暗記系科目ではテキストやレジュメをただ読むのではなく、 1度 V 問題集で解き、間違えパターンを頭に入れてから読むこと で、効率よく知識をインプットすることが出来ると思います。さらに、 インプット作業の手助けをしてくれるTACのフォローとして、私は、 音声ダウンロードフォローをお勧めします。各講義をスマホに入れ、 電車の移動やジムのトレーニングの時間などのスキマ時間を有効 活用していました。音声なのでただひたすら、聞き流しているだけ でも効果があります。公務員試験は、範囲が膨大なので音声ダウ ンロードフォローなどをうまく使って勉強することが大切だと思い ます。

▶論文試験対策

論文は、とにかくたくさん書いていろんな人に見てもらうことが 重要だと思います。それぞれの人から頂いたアドバイスを参考に書 き直しを繰り返し、自分の中で必勝パターンを身につけてください。 また、白書や自治体のHP、新聞などを読み、常にあらゆる角度 から、物事について考えることも大切です。どの課題に対しても 出題者の意図を考え、それに沿った答えをしっかりと述べることも 論文で高得点を狙うには必要だと思います。

論文は、警察・消防の試験を勝ち抜くためには不可欠な科目だ と思います。たとえ、教養試験で失敗しても論文で高得点を取れ れば逆転することも可能です。教養試験対策で大変だと思います が、論文対策は後回しにせずしっかりと対策を行うことをお勧めし ます。

▶面接試験対策

面接試験で大切なのは、3つあります。それは、経験と自己分 析、自治体研究です。可能な限り多くの方に模擬面接をしてもら い、自分は客観的にどんなところが優れていて、どんなところが足 りないのかを率直に評価してもらうことで、本番でもそのアドバイ スを活かすことができると思います。また、自己分析・自治体研 究は、どれだけ深く、熱心に行ったかで、面接官に伝わる熱意の 度合いも変わってくると思います。時間の許す限り、あらゆるイベ ントに参加し、現職の方のお話を聞き、ノートなどにまとめておく こともお勧めします。

面接は自治体によって、方式も時間も質問内容も大きく異な ります。TACや先輩など多くの人に話を聞き、他の受験生より多 くの情報をもって試験に臨むことで気持ち的にも余裕が生まれま す。人生がかかった試験なので緊張すると思いますが、自分の抱 いている熱い想いを存分に伝えられる場だと思って笑顔で楽しん で面接に臨んでください。

▶これから受験する人へのアドバイス

公務員試験は、最終合格を頂くまで大変長く辛い戦いです。そ れでも、合格を勝ち取った時の喜びは何ものにも代え難いものと なります。

長期戦を戦い抜くためには、とにかくモチベーション維持に努 めることが大切だと思います。何度も説明会や見学に足を運び、 現職の方にお話を聞いたりして、自分の将来働く警察官・消防官 の姿をイメージし続けてください。そうすることで論文・面接対策 にも活かせますし、入庁後の知識・経験にもきっと役立つことに なると思います。

時には、成績が伸びず挫けそうになることもあると思います。 そんな時でも、警察官・消防官になりたいと思った初心の気持ち を忘れずに、最後の最後まで諦めずに頑張ってください。

小川龍誠さんの保護者様の声

TACの先生方には息子が大変お世話になりました

警察官になりたい!という幼少期からの思いを叶えるために、必要なことはどんなことでも積極的 に参加し取り組んできた息子でしたが、対策範囲の広い公務員試験だけは独学ではどうしても限界が ありました。

そんな時に出会ったのがTAC水道橋校でした。学校が近くWebフォローもあり、授業料も良心的で あり、息子からの相談で即決でした。毎日毎日、休校日以外は時間が空けばTACに行き、3年生後半か らは家にいるより、TACにいる方が長いのでは?というぐらい通っていたのではないでしょうか… TACに行けない時は、部屋でWeb授業。先生方の生徒を飽きさせる事なく逆に夢中にしてしまう講義 で、私も拝見しましたが、先生方の話術には何もわからない私まで引きこまれていました。

又、一番の課題であった論文対策。何度も何度もありとあらゆる題材に挑戦し、添削を頂くことで 確実に上達しているのが目に見えてわかりました。公務員試験の中でも大きな割合を占め小論文の上 達は、息子本人の自信に繋がり、本番前には何よりも得意でどんな論題でも大丈夫と言えるまでに なっていました。面接対策では、お忙しい時間を割き、幾度となくやって頂けたことが更なる自信に 繋がっていたと思います。

先生方の仕事を超えた熱意と信頼感、本人の隠れた力や性格を見抜き、個々に合わせた最良の声掛 け・ご指導・アドバイス…不安定な心を励ましたり、時には叱ったりと温かく支援し続けて頂いたこ と、本当に感謝です。

今までは親が一番の理解者だと自負しておりましたが、TACの先生方の驚くほど的確な息子へのアド バイスには頭が下がりました。私ができることは、微々たるもので息子が目標を達成できるその日ま で、体調を崩さぬよう、食事面でのサポートと安定した精神状態でいられるようにし息子の話を聞い てあげることくらいでした。

親とは違う視点で息子の人間力を磨き、成長させ合格へ導いてくださった先生方...本当にありが とうございました。

*合格した喜びの声

「合格したよ!!」警視庁2次試験の結果が出るまで、毎日ポストを確認する日々。息子は平静を 装っていましたが、私以上に気が気じゃなかったでしょう…全ての結果が出て最後に警視庁合格がわ かったときのプレッシャーと不安から解放された息子の安堵の顔は忘れられません。







立正大学 法学部

最終合

警察官になるために

最終合格先 千葉県警察官A·警視庁警察官 I 類

受講コース

メディア

校舎

1.5年総合本科生

教室+Webフォロー講座

水道橋校

▶警察官を目指したきっかけ・理由

私が警察官を目指した理由は、幼いころからの憧れだったからです。幼いころから目にする警察官はかっこよく、私も警察官になりたいと思うようになりました。また、道に迷ってしまい警察官に道を尋ねた時の対応も私の進路にかなり影響しています。対応してくださった警察官はとても親切な方で丁寧に道順を教えてくれました。私の中で警察官は厳しく犯罪を取り締まり、心身共に屈強なイメージがありました。しかしながらこの出来事がきっかけで警察官は屈強さをもつ一方で優しさも持ち合わせている人間であり、私もそのような人間になりたいと思い警察官を目指そうと思いました。

► TAC を選んだ理由

私がTACを選んだ理由は充実した様々な制度があるからです。例えば、通常3年生の4月から始まる講座を2年生からでも受講することができます。そのため長い時間をかけてじっくりと苦手科目を勉強することができ、克服することができます。また、TACは一次試験の突破ではなく最終合格を目的としているので面接練習や論文の添削などのサポートが充実しているのも大変魅力的です。面接対策や論文などは過去問を分析して作成されているため、より実践的な内容となっており本試験において十分な力を発揮できます。

私は2点しか制度を挙げていませんが、このほかにも担任制度やWebフォローなど合格を援護してくれる様々な制度が存在します。それらの制度すべてがTACの魅力であり、私がTACを選んだ理由です。

▶教養試験対策

公務員試験は多岐にわたる分野から出題されるため幅広い知識が要求されますが、それらをすべて丸暗記するのは非常に難しいと思います。なので私は基礎的な知識かつ頻出度の高い分野から重点的に、繰り返し学習しました。そのため演習や模試では点数の振れ幅が少なく、比較的安定して点数をとることができました。また、基礎を固めているため難易度が高い問題が出題されても問題の趣旨や解説を自分で理解でき、本試験までには難易度の高い問題にも対応することができました。

1日の勉強時間については2時間から10時間とかなり差がありました。これは本試験までの日数や大学の課題、私生活の予定等を勘案しその日の勉強時間を決めていました。あらかじめ計画を立てることによって無理なく勉強することができます。また、通学時間や授業、バイトの休み時間などの時間は暗記するのに最

適です。有効に活用することをお勧めします。

▶面接試験対策

公表されている点数配分からも理解できるように、警察官採用 試験において面接はかなり重視されています。そのため私は面接 練習を繰り返し行いました。練習の内容としては言葉遣いや志望 動機はもちろん、入退室の仕方や着席時の姿勢、服装など様々 な点に及びます。

私は面接練習を行うにあたって受験先の機関の情報収集とその整理に努めました。面接を受けるにあたって志望先の情報は不可欠です。なぜなら面接時に志望する部署や他の組織との違いを述べたり比較する機会が非常に多いからです。情報源としては説明会での業務説明や個別質疑応答、関係機関のホームページなどがあげられます。そのほかに新聞等の警察関連記事や時事ニュースも重宝しました。そしてこれらの情報は面接時の材料となるので整理して要約し、簡潔にまとめることもかなり重要です。まとめることによって面接時に簡潔に述べることができ、集めた情報を無駄なく有効に活用することができます。

▶これから受験する人へのアドバイス

勉強を継続的に行うことは公務員試験において大変重要である と思います。しかしながら勉強と同じくらい息抜きをすることも大 切だと私は感じました。

公務員試験のための試験勉強期間は非常に長いです。毎日座って勉強しているだけではモチベーションが維持できず、勉強から逃げ出したくなったり挫折しそうになったりします。私自身も何度か挫折しそうになったことがあります。そのようなときは1度ペンを置いて遊びに行ったり、仮眠をとったりと勉強のことを忘れて息抜きをすることをお勧めします。勉強と息抜きのバランスをうまくとることで質の高い勉強を長期的に継続することができます。

また、TACの様々な制度をフル活用することも欠かせません。 私の場合は担任講師制度を利用して苦手科目の指導をしてもらったり、面接対策をしてもらったりしました。ほかにもWebフォローがついているのであれば通学中に講義の予習、復習も可能です。

皆さんも勉強と息抜きのバランスをとりつつ、使える制度はすべて使って合格を目指して頑張ってください。

櫻井智彪さんの保護者様からの声

本人が幼い頃から警察官を志していたため、大学2年生の後期という比較的早い時期に TAC へ入校しました。当時本人は大学の講義やアルバイトのため朝が早かったり、夜遅くに帰宅するなどかなり不規則な生活を送っていましたが、TAC の無理のないカリキュラムのおかげで学生生活と受験勉強とがうまく両立しているような印象を覚えました。また、うまく学生生活と受験勉強を両立できたことから、3年生後期までには単位修得を終え、直前期には受験勉強に集中することができていたと思います。合格にはもちろん本人の努力ということもありますが、なによりも TAC の諸制度や講師陣の手厚いサポートがあったからこそ成し得たものであると私自身は考えています。そして、本人の長年の夢である警察官という職に来年から就くことができ、その結果に大変満足しています。

 6



横山 千夏 さん 駒澤大学 法学部

受験は一人じゃない

最終合格先

埼玉県警察官I類

受講コース

メディア

校舎

入門付総合本科生

教室+Webフォロー講座 4月入学

池袋校

▶警察官を目指したきっかけ・理由

箱根駅伝の先導をする白バイ隊員に憧れて、警察官という職業 に興味を持ちました。実際に志そうと決めたきっかけは、現職の 警察官とお話したことです。後日の職場訪問の際、職場の雰囲気、 同僚との信頼関係等、その方の働く姿に圧倒されました。同時に、 私の中で警察官になりたいという明確な目標へと変化しました。

► TAC を選んだ理由

大学2年の冬に警察官を志すことを決めた後、高校の勉強に不安を感じていたため予備校を探し始めました。アルバイト先の先輩がTACに通っていることを知り、体験授業を受講しに行きました。駅から近いこと、教室授業、Webフォローに魅力を感じましたが、中でも担任講師制度が決め手でした。

▶論文試験対策

私は書く事よりも、内容の"ネタ"作りから始めました。部活動やボランティア活動での経験、採用説明会やインターンシップに参加するなど、内容の選択肢を増やしていきました。その後、実際に書いてみると、1,000字書き上げるのに3時間以上かかりました。焦りもありましたが、それを担任講師や文章理解の講師に添削して頂きました。同じ課題を4回リライトし、合格答案となったら次の課題に手を付けます。回数を重ねていくうちに課題を見た瞬間、書きたい内容がいくつか思い浮かぶようになりました。

警察官になりたいという気持ちを表現するには、論文試験は有効だと考えます。どの試験に重きを置くかは自分次第ですが、試験2ヶ月前は特に論文ばかり書いていました。また、字を丁寧に書くことも印象は良いと思います。

▶面接試験対策

私が心掛けたことは第一印象です。とにかく警察官らしく、身なりを整えます。挨拶は大きな声で、一つ一つの動作にメリハリを付けます。当然のことですが、普段から意識することで自然に行うことができるようになります。

模擬面接は、合否に関わらず一次試験終了後すぐに練習を開始しました。スーツを着用し、緊張感のある面接を計6回ほど受講しました。また面接官も毎度変わるので、様々な視点からアドバイスを受けることができます。

私の受験先は集団討論がありました。集団討論の雰囲気は、 一度は経験することをお勧めします。試験当日は積極的に発言す ることも大切ですが、協調性も審査のポイントとなります。グルー プで一つの答えを出すので、その瞬間は仲間意識を持つと良いと 思います。

▶講師について

担任講師は、受講生が何十人といる中で、親身に接して下さいました。何年も受験生を担ってきている講師の言葉は、本当に心強いです。勉強面はもちろん、時には話し相手としても接して下さいました。合格を報告した際も自分のことのように喜んでくれました。

教科講師は、授業後の質問に快く応じてもらえます。教室講義とWebフォローで講師が異なる場合があるので、自分がいいなと思った授業を受講していました。また、受付のスタッフさんも親切丁寧で、受付窓口に行くといつも明るく挨拶で迎えてくれます。TAC全体が受講生をバックアップしてくれたので、TACを選んで本当に良かったです。

▶これから受験する人へのアドバイス

合格通知を手にするまでは本当に長い道のりですが、人生のうちのほんの一部です。今となっては、勉強の辛さよりも合格した時の安堵の方が勝っています。また、一生を決める受験は不安で押しつぶされそうになります。そのような時、私は周囲の存在が支えになりました。頼れる人なら誰でもいいので、辛い時は会話をするだけでも、心が軽くなりますよ。



岡垰 優大 さん 國學院大學 人間開発学部 (在学中合格)

夢への第一歩

最終合格先

東京消防庁消防官 I 類·横浜市消防局大卒程度 神奈川県警察官 A

受講コース

メディア

校舎

入門付総合本科生

教室+Webフォロー講座 5月入学

横浜校

▶消防官を目指したきっかけ・理由

私が消防官を目指した一番の理由は、消防団で様々な経験をしてやりがいを感じたからです。私は中学生の時にテレビの報道で消防官が老人を助けているところを見て、憧れを抱きました。それから大学生になるまで憧れを抱いていて、消防団に入団しました。消防団では、中学校に行き、応急救護の指導をすることや、防災イベントの手伝いをすること、訓練に参加することなど様々な経験をしました。この経験から、消防官の仕事はやりがいがあると感じ、消防官になりたい気持ちがより強くなりました。

► TAC を選んだ理由

TACを選んだ理由は2つあります。

1つ目は、姉がTACに通って市役所に合格したことです。姉から、TACに入れば何を勉強すれば良いかが明確にわかるし、担任講師は親身になって話を聞いてくれると聞いていたし、姉が実際に合格したので、私もTACに入って合格を目指そうと思いました。

2つ目は、講座説明会に参加して、論文を無制限に出せること や担任講師の熱意を感じたため、ここなら精一杯頑張れそうだと 思ったからです。

▶教養試験対策

私は5月に入学してから10月までは、講義に出て、その日に30分ほど復習して、次の日に3時間ほど復習することのみを行なっていました。11月からは数的処理のV問題集から、数的推理2問、判断推理2問、空間把握1問、資料解釈1問を20分以内で解くこと、文章理解の問題集から、要旨把握2問、内容合致2問、英文1問を20分以内で解くことを毎日継続して行っていました。それに加えて、講義の復習やいろいろな教科のレジュメを何度も読んで覚えることを行なっていました。

本試験を経験してみて思ったことは、みんなが解けそうな簡単な問題を落とさないようにすることの大切さです。本試験で一番怖いのは、焦って文章を読み間違えることや、解けそうで解けない問題に時間をかけてしまって簡単な問題を疎かにしてしまうことです。そうしないためにも、何度もレジュメを読んで基本的なところを間違えないようにして、難しい問題を捨てる練習をすることが大切です。

▶論文試験対策

論文は11月頃から週に2回以上は書いていました。内容においては同じ論文課題でB評価を取れるまで何度も書いていました。

論文を書く時には出題者がどのような意図で問題を出しているかをしっかり読み取ること、結論先行型で読みやすい文章にすることなどを意識して書いていました。正直、最初の方はB評価を取ることが出来ませんでした。しかし、継続して論文を書き続けているうちに、自分の中で論文の型が出来てきて、エピソードにおいても防災系ならこのエピソード、というように、多くの引き出しを作ることができ、直前期にはほとんどの論文でB評価を取ることが出来ました。東京消防庁の試験は論文が非常に大切です。東京消防庁の論文試験は例年、予想できない課題が出題されます。そのため、どのような論文課題でも対応できるように、B評価をもらったら次の論文課題を書き、それを継続することで多くの論文課題に挑戦するのがいいと思います。

▶これから受験する人へのアドバイス

私がこれから受験する方へ一番伝えたいことは積極的にTACのサービスを活用することの大切さです。TACには論文を無制限で出せること、担任講師からありがたいアドバイスをいただけること、様々な教科の講師にわからない部分を分かりやすく教えていただけることなど様々なサービスがあります。私はこれらのサービスを積極的に活用できたことが合格に繋がったと考えています。特に論文においては、論文の授業が終わってから毎回、講師の方に自分が書いた論文を読んでもらい、大変参考になるアドバイスをいただきました。TACの講師の方は優しく教えてくださるので、積極的に質問することがおすすめです。

勉強を継続して行っている中で辛いと思うことはあると思います。その時には、TACの受講生同士で会話をすることや消防士が活躍している動画をみるなど、自分なりのモチベーションを上げられるものを見つけて最後まで全力を尽くして頑張って下さい。

・最終合格者の生のコトバ



青柳 朗生 さん 日本大学 商学部

(在学中合格)

目標への歩み

最終合格先

神奈川県警察官A

受講コース

メディア

校舎

入門総合本科警視庁 Plus

教室+Webフォロー講座 5月入学

立川校

▶警察官を目指したきっかけ・理由

警察官を目指した一番の理由は、小さい頃から憧れていた職業だったからです。幼い頃から剣道をやっていたことも大きな理由です。地元の道場で剣道を始め、剣道を通して警察官の方と関わる機会が多くありました。そのような縁もあり警察官がいつしか身近な職業になり、警察官として働きたいと思うようになりました。

► TAC を選んだ理由

試験勉強のために予備校に通おうとは思っていました。様々な 予備校があり何を基準に選べばよいか分らず迷っていたときに、 警察官になった先輩や同じ警察官を志していた友人がTACを紹介 してくれました。その後TACの説明会に行き、充実した環境や、 体験講義を通して講師の方の熱意に惹かれTACで学ぶことを決 意しました。

▶教養試験対策

まず、一番大変であり、力を入れた科目は数的処理でした。勉強を本格的に始めた時期から毎日欠かさずに問題を解き続けていました。当たり前のことですが、とにかく過去問や練習問題などを繰り返し解いて、問題に数多く触れることが一番です。数的処理は一つ一つ時間をかけて丁寧に取り組めば確実に点数に返ってくる科目だと思います。

また社会科学や人文科学などの暗記系の科目は、範囲が莫大であり、漠然と覚えようとしたら確実に覚えきれません。もちろん全範囲を完璧に暗記するのは不可能に近いので、様々な結びつき、キーワード、語呂で覚えるなど自分が覚えやすい形を作ると、素直に頭に入ってきます。日本史などは大まかな年表や時代の流れを抑えると覚えやすかったです。

教養対策は科目や範囲が多く、中には難しい問題もあります。 難しい問題に多くの時間を割くのではなく、得意な科目、範囲を 少しでも増やせるようにコツコツ取り組むことが結果への一番の 近道だと思います。

▶面接試験対策

公務員試験を受ける際、講師や先輩が口をそろえて言われていたのが、「面接試験が一番大切」です。実際に、本番の面接試験を受けた今ならその重要さについて声を大にして言えます。いくら教養試験で高得点が取れても、面接試験の出来次第で不合格になってしまう人は多くいます。質問される内容に対する答えを適当に用意しておけば大丈夫だろうと思っていましたが、TACの講師

陣と本番を想定した模擬面接をやってみたところ、全く答えられなくて落ち込んだのを覚えています。答えられなかっただけではなく、声も小さく覇気がないとも指摘を受けました。実際に頭で考えるだけでなく、声に出して行った模擬面接は、体験しなければ自分では気が付けなかったことも指摘してもらえ、とても有意義な時間になりました。私は全部で4回受けましたが、もう少し時間をかけて対策をすればよかったと少し後悔しています。面接では、相手の質問に答えるのはもちろんですが、あくまでも人と人の会話であることを忘れてはいけません。用意してきた回答を一言一句話す場所ではなく、少し言葉に詰まっても、自分の熱意、思いを会話にぶつけることを意識すれば良い結果が得られると思います。

▶これから受験する人へのアドバイス

これからの学習は、泣いても笑っても自分の人生にとって大きな財産になると思います。教養、面接、論文など考えることが多く忙しい日々が待っています。焦りや不安、いろいろな感情が押し寄せてきます。常に目標を立ててコツコツと学習し、時には遊びに出るなどメリハリをつけることで自然とモチベーションが上がります。余裕を持ちすぎて遊びすぎると大変なことになりますが、ある程度心に余裕を持って臨んで下さい。

また、TACには充実した環境あり、素晴らしい講師の方々がいます。合格を目指している私たちの背中をこれでもかというくらい押してくれるので、信じて学んで欲しいと思います。

最後になりますが、本当に最後の辛い時、自分を支えてくれるのは気合い、根性です。苦労をせず合格はできません。面倒くさいこと、大変なことを乗り越えた先に結果が付いてくると思います。 最後の一瞬まで自分が後悔することのないよう力を出し尽して頑張って下さい。





佐伯 知也 さん 専修大学 商学部 (在学中合格)

目標に向かって

最終合格先

格先 警視庁警察官I類・千葉県警察官A

受講コース

メディア

校舎

入門付総合本科生警視庁Plus

教室+Webフォロー講座 4月入学

立川校

▶警察官を目指したきっかけ・理由

私は生後すぐに大きな病にかかり、沢山の人に助けられてきました。したがって、将来は、私が人々を助け、守りたいと考えていました。そして、将来のことを意識していた時期に尊敬をしていた 先輩が警視庁の警察官になりました。私は先輩の体験談や警察官としての心意気を聞き、市民の安全を守る警察官こそが私のなるべき職業だと考えました。

► TAC を選んだ理由

警察官になると決めた私は合格の可能性を上げるため、予備校に通うと決心しました。そして以前に資格の勉強で使用していたTACの参考書がわかりやすかったので、TACの説明会に参加しました。教材はもちろんのこと、講師の方の解説が丁寧で理解しやすかったので、迷わずTACに入校しました。

▶教養試験対策

TACに入校して半年は数的処理と文章理解を中心に勉強しました。数的処理は苦手意識がなかったので、すぐに理解をすることができ、V問題集を何回も解きました。半年くらいの月日をかけ勉強した数的処理は本番の直前で確認程度をしただけで、直前期で焦ることはありませんでした。文章理解は毎日問題を解くことで、問題の解くスピードや正答率が上がりました。

しかし、苦手な暗記科目は受講してから直前期まで必死に勉強しました。Webフォロー制度を利用し、理解するまで受講し続けました。得点源にならなそうな科目については全く勉強しないのではなく、分かるところだけ勉強しました。

▶論文試験対策

私は文章を書くことが苦手で、公務員試験で論文が一番不安で した。

初めのうちはD評価ばかりで、論文の講義を受けることが非常に辛かったです。しかし、論文が書けなくてはどこにも合格することはできないので、一日一枚書き、添削をしてもらいました。そして、講義を重ねるにつれて、どのような形式で書けばよいかを理解することができ、次第にまともな論文が書けるようになりました。

論文は丁寧に沢山書けば書くほど、良いものが書けるようになります。苦手な方は早めに取り掛かることをお勧めします。

▶フォロー制度について

入校当初は授業の欠席をするつもりはなかったので利用しないだろうと考えていました。しかし、試験3、4か月前に差し迫った時、苦手な社会科目を克服するためにフォロー制度を利用しました。同じ講義を受講できるので、一回目と二回目では理解度に変化がありました。初めて聞いていたときには分からなかった所が、二回目に聞くと「そういうことだったのか!」と理解することが出来ました。分からないことは先生に聞くのも良いが、自分で考えて理解することも大切だと思います。

▶ これから受験する人へのアドバイス

勉強を始める時期は人それぞれだと思います。早くスタートしたからといって試験の結果が良くなるものでもありません。重要なのは日々の積み重ねだと思います。毎日勉強することは苦痛になると思いますが、ライバルも皆頑張っています。TACの講師の方の話を良く聞き、努力をすればその分だけ良い結果になるでしょう。勉強ばかりではなく、気分転換に身体を動かすなどをして、勉強を継続させてください。



杉尾 浩平 さん 日本大学 法学部

最大の敵は奥底にある自身の『こころ』

最終合格先

神戸市消防局大卒程度:明石市消防局大卒程度

受講コース

メディア

校舎

入門付総合本科生 教室-

教室+個別DVD+Webフォロー講座 4月入学 池袋校

▶消防官を目指したきっかけ・理由

私が消防職員を目指したきっかけは、中学時の職業体験です。 一週間だけの体験だったのですが、消防職員の方々の行動、発 言がとても格好よく感じ、私もこういう人になりたいと思いました。 そして、大学に進学し、東日本大震災の被災地に行く機会があ りました。行くまでは被災地の様子を映像でしかみたことがなく、 他人事のように感じていました。しかし、その生の光景が、消防 職員に絶対なってやるという強い気持ちにさせました。

► TAC を選んだ理由

TACともう一つの予備校と迷っていました。そこで、大学の先輩がTACに通っていて、試験に合格していました。「教え方がわかりやすく、施設もきれいで環境はいいよ」ということを聞いて体験講義に参加してみました。先輩から聞いた通りわかりやすく、ひとりひとり丁寧な対応で、自習スペースの環境も良かったです。また、友人も通っていたので刺激をもらいながら勉強できると思い、TACに決めました。

▶教養試験対策

まず数的処理が基本になります。どの科目よりも多く出題されるので自信がつくまでやりました。文章理解では、問題を解く感覚を忘れないように一日に文章理解3題、英語2題は必ず解いていました。神戸市は時事系が多いので大学にある新聞を毎日読んだり、時事のテキストを読んだりしていました。TACの問題集には上部に日付を書くところがあります。問題を解くごとに日付を書いて、間違えたところには付箋を貼って、解けるまで貼り続けていました。一日のうちにできるだけ多くの科目に触れるようにしました。

▶論文試験対策

論文の授業を基礎としました。その中でも構成が重要だと思いました。構成が確立していると、読み手は読みやすいと思います。さらに字を大きくきれいに書いて、多くの人に自分の論文を読んでもらい、様々な表現法を学ぶのがいいと思います。私は、TACの提出ボックスと担任、大学の先生を活用しました。同じ論文でも先生によって視点が違い、新たな発見ができると思います。書くのが慣れてくると、手書きの論文を2枚ほどコピーして、いろいろな人に添削してもらいました。

▶面接試験対策

対策は、過去に私が何をしてきたのか、消防に対する想い等を紙に書き、自分の過去をストーリーとして頭の中に描きました。また、私の弱さ、失敗をどう乗り越えてきたのかを入念に絞り出しました。私は相手に良く見られたいと思う感情がありました。そういう感情をいかになくし、さらけ出し、伝えられるかが面接でのカギでした。その後、TACの担任や大学の先生に模擬面接官をしてもらいました。そして、面接官との意思疎通を図ることを意識しました。面接官は敵ではなく、これから一緒に働いていく可能性があります。恐れることはないと思います。私は、面接官を困っている市民だと思いながら優しく話すように心がけました。目をキラキラさせて会話を楽しんでください。

▶ これから受験する人へのアドバイス

私はUターン就職をしました。東京消防庁は受験せず、神戸と明石の二つだけです。二つの自治体しか受けないのはかなりのリスクがありましたが、私はこの選択肢でよかったと思いました。なぜなら想いがとても熱くなるからです。将来、転職する人もいるかもしれませんが、それがなければこれから先、自分が身を寄せる場所が志望先になります。これからそこで納得して働いていけるのかが重要になってくると思います。妥協せず、自分が働きたい志望先に焦点を当てて、心残りがないように頑張ってください。

つらいときは必ず訪れると思います。勉強に飽きたり、みんなが遊んでいるのが羨ましくなったりすると思います。そういう思いになったときは、一度勉強から離れたほうがいいかもしれません。試験二か月前とかの直前はよくないですけど。気持ちを切らさずずっと保つのは難しく、保てたとしても効率が悪くなると思います。友達や家族、TACの担任の先生にたくさん相談したほうがいいと思います。そうすると気持ちが楽になります。自分で抱え込まないようにしてください。この受験は気持ちが大きく左右されると思うので、なりたい自分を思い描きながら取り組んでください。理想像を持つことで、面接では熱い想いを面接官に伝えることができます。試験を怖がらず楽しんでください。楽しんだもの勝ちです。慎重かつ大胆に!筆記も論文も面接も反復練習です。長期戦になると思いますが、あきらめずに乗り越えてください。



近畿大学 法学部

(在学中合格)

最終合格先

大阪市消防局消防吏員A

末吉 達哉 さん 受講コース

調コー人

夢への第一歩

メディア

校舎

入門付総合本科生

教室+個別DVD+Webフォロー講座 4月入学

京都校

▶消防官を目指したきっかけ・理由

幼い頃からの夢だったのが消防官でした。私の母は看護師をしていたのですが、その母から災害現場などでは第一救命処置が要救助者の命を救うと聞き、その第一線で活躍する消防官にあこがれて消防官を目指したいと思いました。また、私が大学2回生のときアルバイト先で小火が起きたことがあったのですが、その時私は何も出来ずにいました。でもその時にかけつけて来てくれた消火隊の人たちのお陰で最小限の被害で食い止めることが出来ました。その消防官の活躍を直接目で見て、より一層消防官になりたい気持ちが強くなりました。

▶ TAC を選んだきっかけ

大学3回生になり本格的に消防官になるための勉強を始めなくてはいけないと思ったのですが、自分ひとりでは絶対に勉強できないと思ったのでどこか予備校に通おうと考えました。その中でも、インターネットで一番評判の良かったのがTACでした。そのTACのHPの中で警察官・消防官担当講師のガイダンス動画を観てこんな講師がいるなら私でも頑張って勉強が出来ると思い、TACに通うことを決めました。TACではDVDでの講義と教室での講義が両方受けられるので、万が一休んでしまっても安心でした。第一志望に合格した今、やっぱりTACに通ってよかったと思っています。

▶面接試験対策

面接で合格するためには、まずしっかりとした面接カードを仕上げることが大切だと思います。そのカードに沿って質問もされるので、その完成度で面接が決まるといっても過言ではありません。カードの内容は先生に何度も添削してもらいました。そのお陰でこれなら安心して面接に挑めると決心できるほどの内容に仕上がりました。面接本番に関しては、堂々と答えることが出来れば大丈夫だと思います。消防官の面接に関してはそこまで時事問題のことも聞かれませんでした。最後は絶対に受かるという気持ちが大切です。

▶苦手科目の克服法

私は以前から数学が本当に苦手でした。それでも、消防官の試験には数的処理という科目が最重要といっても過言ではありません。学習を開始した頃は問題集の最初の問題からつまずきました。必死に自分なりに考え答えを出し、解説をみて、それでも分からなかったら先生に質問をするということを繰り返して、少しずつ解けるようになっていきました。最終的には、V問題集を10周は解いたと思います。V問題集が完璧になると、もう一つ新しい問題集を買ってやっていきました。そのくらいやれば苦手だった数的処理でもしっかりと点数を稼ぐことが出来るようになりました。暗記科目については講義の音声をひたすら聞いたり、レジュメの重要な部分を隠して完璧に覚えられるまで繰り返したりしました。

▶ これから受験する人へのアドバイス

とりあえず最後まで諦めない気持ちが大切だと思います。私も勉強は大嫌いでした。それでも勉強を続けてこられたのはTACの講師や同じクラスで勉強した友達がいたおかげだと思っています。遊ぶときは遊んで勉強するときは勉強する。そのオンとオフの切り替えをしっかりすることで嫌な勉強も続けることが出来ると思います。勉強していて、必ず諦めそうになるときが来ると思います。そのときは、絶対自分は消防官になるんだという強い気持ちと諦めない気持ちを持って一生懸命に取り組んでいってほしいです。



帝京科学大学 生命環 境学部 (在学中合格)

憧れの実現のために

最終合格先 長野県警察官A·警視庁警察官 I 類

受講コース

メディア

校舎

総合本科生警視庁 Plus

教室+Webフォロー講座 10月入学

立川校

▶警察官を目指したきっかけ・理由

警察官の仕事への憧れです。凶悪な犯人に果敢に立ち向かう 姿や子供に優しく対応している姿を見て、国家や国民の安心、安 全を守る仕事に魅力を感じました。

また、最近は特殊詐欺やサイバー犯罪が増えてきており、新た な対応が求められてきており、そこに自分の得意分野などを活か せるのではないかと考えたのも理由の一つです。

► TAC を選んだ理由

独学よりも予備校に通ったほうが勉強のペースも作りやすいし、 勉強以外の対策もしやすいと考えて色々な予備校のパンフレッ トやホームページ、体験講義などを受けてきました。その中でも TACは他の予備校よりも合格実績が高く、また説明会での対応 や授業の質が高いと感じました。ここで頑張っていくのが一番い いと感じたのが理由です。

▶教養試験対策

教養試験は数的処理が多く出題されるので、そこに一番力を入 れて学習しました。数的処理は、繰り返しやることで段々と解き 方がすぐに頭に浮かんでくるようになってきます。数的処理は落と すと点数に非常に響いて来るので、最重要でやりました。しかし、 数的処理は基本全員が重要視しているのでそこではあまり点数差 が開きません。その点数差が合格するかしないかの差になること もあります。そのため、覚えさえすれば点が取れる社会科学や自 然科学なども重要視して勉強しました。暗記科目は回数を重ねて 覚えていくことで確実な知識となるので繰り返し、レジュメや問 題を解いて覚えました。また夜、寝る前にやったことが覚えやす いという話も聞いていたので、暗記科目は夜寝る前によくやって いました。

また私は勉強時間を逐一記録して、どれだけ頑張ったかが見え るようにして、モチベーションを上げていました。直前期は問題を 解けるだけ解いて、問題に慣れるようにしていました。本番でどの ような問題が出ても対応できることを目標に対策していました。

▶論文試験対策

論文試験は受ける自治体によって出しやすいテーマがあります。 そのため、過去の出題データなどを調べ、出そうなテーマを絞り ました。また、論文は構成や書き方がしっかりしていないと減点 対象となってしまうため、その点を授業やレジュメなどでしっかり と学びました。論文は書くことに慣れるのが大切なので、できる

だけ多く書くようにしました。書けば書いただけ上手くなっていき ます。また、内容によっては時事などの知識がないと十分に書く ことができないテーマが出ることもあります。そのような問題が出 ても対応出来るように、時事対策も非常に重要になります。私は、 新聞やニュースなどを普段よりもよく見るようにして、対策をしてい ました。

▶面接試験対策

面接試験対策はできるだけ多く模擬面接を受けて、面接という ものに少しでも慣れるように対策しました。しかし、面接は面接官 との会話なので、文章の暗記では絶対ダメです。

自分の考えをしっかりと持っておき、それを試験会場でしっかり と伝えられるように対策をしていくといいと思います。また、マナー や言葉遣いなども面接対策講義や模擬面接でしっかり習得すると いいと思います。

▶これから受験する人へのアドバイス

継続することが大切です。「継続は力なり」です。試験対策は 時間がかかります。長い時間、試験勉強を続けていると辛くなっ て来る時期が出てくるかもしれません。それでも少しでも毎日何か しら勉強してください。期間が空いてしまうと、その後が続きにく くなります。息抜きすることも重要です。一日休みにして遊びに 行くこともあるでしょう。それでも寝る前の5分でも10分でも何 かしらするだけで継続させやすくなると思います。試験対策はやれ ばやっただけ力がつき、それと同時に合格の可能性も上がってき ます。TACの教材と講師を信じて悔いの残らないよう最後まで頑 張ってください。



松永 理佐 さん 横浜市立大学 国際総合 科学部 (在学中合格)

短期間でも勉強時間と気持ちで追いつけます

最終合格先

東京消防庁消防官Ⅰ類・仙台市消防局大卒程度

受講コース

メディア

校舎

総合本科生東京消防庁 Plus 教室+個別DVD+Webフォロー講座 11月入学

横浜校

▶消防官を目指したきっかけ・理由

東日本大震災で被災したとき、レスキュー隊が必死に人命救助 に当たっている姿や避難所で女性消防官が被災者の方々の話に 耳を傾けている姿を間近で見たことで、消防官は様々な方法で人 を救えると感動したことが目指したきっかけです。民間企業に就 職するつもりでしたが、いざ就活を始めてみると本当に就きたいと 思う職業を目指すのが一番と思い、消防官を志すこととしました。

► TAC を選んだ理由

私は消防官を目指すことを最終決定したのが、4年生の11月と いう周囲より非常に遅いタイミングでした。そのような中初めて 行った体験講義が TAC で、今からでも合格できるような力を付け られるというお話を伺ったので、そのままTACに入会することを 決めました。

▶教養試験対策

上述したとおり、私は入会した時期も遅くそこから勉強を始めた ため、春休みは1日13時間程度勉強することを続けました。

特に数的処理や自然科学が非常に苦手だったため、毎日継続 して解きました。最終的にはV問題集は6周以上解いたと思いま す。また捨て科目を作ることはあまりお勧めされませんが、勉強で きる時間も限られていたため、空間把握と資料解釈の分野は早々 に捨て、V問題集は解かずにレジュメの内容だけを繰り返して完 璧にしました。逆に英語と文章理解は得意だったので、その教科 は一切勉強しませんでした。

公務員試験は範囲が膨大です。私のように入会時期が遅い人 は特に、得意・不得意を早めに見極めて、捨てるのか伸ばすのか 等自分なりに問題の解き方について判断できるといいのではない かと思います。

▶論文試験対策

私は毎週十曜日に論文を1本仕上げることを自分の中で決めて いました。そして絶対に書いたままにせず、添削を受けるようにし ていました。自分ではできたと思った論文でもC判定が来ると落 ち込みますが、見せずに自己完結するよりもアドバイスをもらった ほうが圧倒的に成長することができるので、積極的に添削を受け たほうがいいです。

論文課題は何が出るか予想するだけ無駄なので、様々な論題に 挑戦しておくべきです。私は似たような論題は省いて、色々な論題 を解くようにしていました。今年のような突飛な論題が出ると焦り

ますが、今まで添削してきてもらったことを活かせば、周囲より安 心して書けるはずです。私は本番のときに、今まで書いてきた論 文の中で高評価のものをお守り代わりに持っていきました。

▶苦手試験克服法

私は数的処理と自然科学が苦手でした。しかし東京消防庁を受 験するにあたり、それらの科目は絶対に捨てられないので、毎日 継続して勉強しました。また、わからないことがあった場合はすぐ に先生のところに持っていって質問をすることをお勧めします。自 分なりにメモを取って何度も復習して解きなおせば、他の問題にも 解き方を活かせるようになるはずです。他にも、大学でその分野 が得意な友人に教えてもらうこともしていました。

どうにもできないときや、勉強する時間がこれ以上取れないと いうときなどは捨ててしまうのもありかもしれません。もちろん全 部ではなくて、最低限だけは解けるように要点だけ完璧にすると いう感じです。私は空間把握と資料解釈をその方法で乗り切りま した。

▶ これから受験する人へのアドバイス

TACでは講師が一生懸命教えてくれ、自習に集中できる環境も 整っています。勉強がつらいと感じたら、講師に相談してみるのも いいと思いますし、他の人が勉強している姿を見て刺激を受ける のもいいと思います。本当に消防官・警察官になりたいと思って いれば、将来の自分の姿を想像して頑張れるはずです。

私は勉強を始める時期も遅く、学校のゼミ活動も忙しく、焦り もあり何度も挫折しそうになりました。私と似ている環境の人は、 その焦りを原動力に変えて、絶対に今回で合格してやるという強 い気持ちを持ってほしいと思います。最後まで諦めずに勉強すれ ば必ず合格できます。

* 2018年 全福智の 生のコトバ



松下 友也 さん 亜細亜大学 法学部

努力すれば合格は近づく

最終合格先 東京消防庁消防官 I 類

メディア

校舎

入門付総合本科生

受講コース

教室+Webフォロー講座 8月入学

立川校

▶警察官・消防官を目指したきっかけ・理由

家のすぐ隣に消防署があり、幼いころから消防官の方が訓練やトレーニングしている姿を見て、こういう人達がいるから、私たちは何かあったとき助けてもらえると思いました。またそれと同時にカッコイイ、自分自身も消防官になって災害や救急で人助けをしたい。この人たちと同じグループで仕事をしたいと思い、消防官を受験しました。

► TAC を選んだ理由

私は1、2年生のころ、大学の公務員講座をとっていましたが、3年生になり、続けるか予備校に行くか迷っていました。そんなときに仲の良かった先輩が、警察・消防コースではないのですが、TACに通い市役所に合格したと聞きました。そこでTACのパンフレットを見てみると、TACには担任講師制度というのがあり、気軽に質問できる環境はとても魅力的でした。また、実際に3回もの体験入校で雰囲気を感じられてから入れるのも決め手の一つでした。

▶教養試験対策

私はまず、受けるところの問題の作りを頭に入れました。例えば警視庁だと数的処理が17問も出ます。その中でも数的推理7問、判断推理5問とウエイトが大きいところを、より多く繰り返しました。また、必ず解ける問題はたまにやる程度で、その分考える問題や何度やっても忘れたり、解けない問題に時間を割きました。

その他の教科も、まずは授業に出て、そこである程度覚えたら、すぐに復習しました。その後V問題集を解くことを繰り返しました。 先生もよく言ってましたが復習は本当に大事です。後半になるにつれ、どんどん科目が増えていきます。そんな時こそしっかりV問題集を何度もやり、分からないところはレジュメを見て、頭の中を整理させていきましょう。

▶論文·面接試験対策

私自身、論文対策は力を入れた方だと思います。とにかく、論 文対策は書いて、講師の方に見てもらうことです。最初の方はな かなか文章が上手く組み立てられず、DやC評価が多かったです。

しかし、TACではしっかり添削してくれて、どう直せばいいのか教えてもらえるので、とても助かりました。書いては直しを繰り返していくうちに良い評価をつけてもらえるようになりました。

また、論文では自分の経験などを踏まえたものが多いので、早

いうちから、自分の様々な経験をまとめておくのも良いと思います。また、論文で経験談を書いておくと面接のときに楽になります。

文章で一回まとめておくことによって、一番伝えたいことを、簡 潔に伝えられると思うので、おすすめします。

▶面接試験対策

面接練習を本格的に始めたのは、一次試験が終わってからでした。TACでは模擬面接をやっているので、一次試験が終わったら絶対にやりましょう。私自身は模擬面接の他に、担任の講師にお願いしたり、TACの友達に声を掛け合って、面接練習を重ねました。本番まである程度の回数をこなすことで、面接の雰囲気に慣れますし、どこがダメかを教えてもらうことで、直すことも出来ます。

私が面接で思ったことは、暗記したことを言うのではなく、しっかりその場で考え、質問に答えることが大事だと思いました。暗記して棒読みになるのではなく、会話を意識した方がいいと思います。

▶これから受験する人へのアドバイス

試験が段々近くなるにつれ、ソワソワすると思います。 そんな 時こそリラックスしてください。

TACの友達と話したり、講師の方に相談したり、大学の友達と遊ぶのも良いと私は思います。私自身週一回は友達と出かけたり、アルバイトをして気分転換してました。しかし、そのあとはしっかり勉強しましょう。

メリハリをつけることのよって勉強の効率も上がると思います。

-- 日一日を大切に過ごし、やるべきことをやれば合格は近づいてくると思います。頑張ってください。

**・* 2018年 全権者の 生のコトバ



大久保 幸一 さん 法政大学 キャリアデザ イン学部 (在学中合格)

地道な積み重ねの先にあるもの

最終合格先

東京消防庁消防官I類·千葉県警察官A

受講コース

メディア

校舎

ザ 総合本科生警視庁 Plus

教室+Webフォロー講座 7月入学

水道橋校

▶警察官・消防官を目指したきっかけ・理由

もともと人を守る仕事が単純にかっこいいと思っていたのがきっかけです。また、私の父が現役の警察官であり、幼い頃から警察の職務に関する話を聞いてきたことで人を守る仕事に憧れを抱いていたからです。受験シーズンが終盤になるにつれ、「確かに最初になりたいと思ったものは警察官であったが、必ずしも警察官になる必要はない」と思い、父とは別の側面から人を守ることを全うしたいと考え、最終的には消防官を目指しました。

► TAC を選んだ理由

もともと中学や高校は付属校で受験経験が全くなかったので、公務員試験勉強をどのようにこなしていけば良いのか皆目見当がつかなかったので予備校に通うことを決心しました。TACを選んだ理由は、いくつかの予備校の説明会や体験授業に参加しましたが、単純に最も親切に対応してくださったのがTACだったからです。また、TACには何人か友人が通っており、入校する前からTACのフォロー制度や授業カリキュラムを聞いていて安心感があったからです。

初めは独学でいこうと思ったのですが、分からない問題に出会ってしまったときに対応できないと思い、フォロー制度や授業カリキュラムが充実しているTACに通うことを決心しました。

▶教養試験対策

これは私が痛感したことですが、講義後の復習は必須です。講義を受けて理解したと思いがちですが、2、3日経つとすっかり忘れてしまうものなのだと痛感しました。ですので、講義後に帰りの電車の中などで講義レジュメを軽くおさらいして、次の日に授業レジュメの例題を解き直してV問題集に取り掛かるのがベストだと思いました。警察官も消防官も数的処理は最重要科目です。数的処理に関しては毎日手をつけた方がいいと思います。この科目は問題の解き方に「慣れる」ということが重要です。あくまで例ですが、私は1日に数的推理、判断推理、空間把握、資料解釈を最低3問ずつ解くよう自分の中で決めていました。どの科目のV問題集も同じですが、問題の上にある問題を解いた日と正解か不正解かはしっかりと記入するべきです。解いた日からどれだけ経過したか分かるので、解き直しの際に便利です。

また、暗記科目はただひたすら覚えるものなので電車の中や休憩時間など、時間を有効活用して少しでも覚えられるように努めていました。

▶面接試験対策

面接は試験の中でも大きな割合を占めます。しかし、面接練習は1次試験が終わってからでも対策は十分間に合うので安心してください。

面接では「この質問が来たらこう答えよう」とセリフを丸覚えしてはいけません。セリフの丸覚えは面接官にとって印象は良くありません。面接官は受験者の「素」を見たいので、頭の中で重要なキーワードを整理しておいて、しっかりと自分の言葉で述べられるようにしてください。

担任の講師や初見の講師の方と面接練習をしたり、TACの仲間と一緒に面接練習をしたりと、とにかく色々な人と面接練習をしてその場の雰囲気に慣れるように努めるべきです。また、本番では例年似たような質問をされますが、どこかで意表を突くような質問をされてアドリブが必要なシチュエーションが絶対出てくると思います。その時に萎縮せずにはっきりと答えられるかを面接官は見ています。そのような場合にしっかりと対応できるように練習の段階で思う存分恥をかいてください。本番ではそれが糧となります。

▶これから受験する人へのアドバイス

公務員試験の勉強は、自分との闘いだと思います。毎日少しでもいいのでコツコツと勉強すれば少しずつ力が身に付きますが、そのコツコツを続けることが本当に難しいです。「昨日頑張ったから今日はやらなくていいや」となってしまうとどんどん意識が低下してしまいます。少しでもいいので「今日はここからここまでやる」と決めて、達成出来たら目一杯自分を褒めてあげてください。

あと、同じ志を持った仲間がいることは自分にとっても仲間にとってもプラスになると思います。分からない問題があればみんなで一緒に考えたり、休憩時間にみんなでちょっとお喋りしたり。ライバルでありながら仲間であるので、一緒に勉強していく中でいつの間にか連帯感が生まれ、「みんなで合格を勝ち取りに行くぞ」という気持ちになります。ふと振り返った時に「仲間と一緒に頑張ってきてよかった」と思える時が来ると思います。

試験勉強はとても辛いものだと思いますが、自分のなりたいものを想像して自分を奮い立たせ、仲間と一緒に最後まで頑張ってください。



継続は力なり

最終合格先

千葉県警察官 A

加藤 辰弥 さん 千葉商科大学 サービス 創造学部(在学中合格)

受講コース メディア

校舎

入門付総合本科生東京消防庁Plus 教室+Webフォロー講座 4月入学

池袋校

▶警察官を目指したきっかけ・理由

私は幼い頃から公安職に憧れがありました。その中で警察官を 選んだ理由は、親しき友人が通学途中に傷害事件に巻き込まれ たのが大きな理由です。

被害に合われた方はとても辛く怖い経験をしたにも関わらず、 自分の夢に向って懸命に努力をしていました。そんな姿をみて私 は、この人のように健全に暮している人たちを身近で守れる仕事 に就きたいと思い警察官を志願するようになりました。

► TAC を選んだ理由

私は、公安職に就くことだけを考えていたので、民間企業への 就職活動は一切しませんでした。その為公務員対策が充実した予 備校を探しました。

しかし、納得のいく予備校が決まらず自宅からは遠いが、TAC 池袋校を見学することにしました。そこで出会った講師にTACの 利便性を赤裸々に教えて頂き他の予備校と比較した結果、TACが 一番環境が良いと思ったのでTACで頑張ろうと思い入会しました。

▶教養試験対策

教養試験の対策では復習がとにかく大事だと頻繁に耳にしてい たので復習に力をいれました。帰りの電車や就寝前の時間に携帯 をいじりたい気持ちを堪えレジュメを見直し、次の日にはノートに 大事な部分を書き写し脳に定着させるように務めていました。しか し、教養の大幅な割合を占める数的処理に関しては自分だけの復 習だけだはなく担当講師にみて貰うことを強くお勧めします。

直接講師にみてもらうことで自分にかけている能力が見えてき て、より良い状態で授業や復習に力を入れることができるからです。 講師にみて貰うことは勇気のいることだと私は思います。しかし、 聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥という言葉があるように分か らないまま先に進まないで講師や勉強が得意な人に沢山質問する ようにしてください。それが合格に近付く一つの方法です。

▶論文試験対策

担当講師から論文の重要性を聞いていたので受験終盤では毎 日一枚書いていました。論文で大事なことは構成力だと思います。 構成は論文の土台となるものなので最初のうちは時間をきにせず 最初の構成に時間を費やして書いてみてださい。そして、ある程 度なれたら色んな人にみてもらうようにしましょう。

見てもらう時の注意点ですが、論文に正解はありません。その 人の言葉が絶対に正しいわけではありません。最終的には自分が

良いとおもった言葉を書くものが論文試験です。つまり、私が言 いたいことは言葉の引き出しを沢山増やしてほしいということで す。我々より長く生きている先輩方が問われている問題に対しての 考え方を聞くことは非常に参考になることばかりです。もし、自分 には合わないとおもったならば反面教師として、そうならないため にどうするのかを考えれば貴重な材料となります。是非参考にして みてください。

▶面接試験対策

私は計4回面接練習に励み警視庁と千葉県警察を受験しまし た。結果は警視庁では二次で不合格、千葉県警は合格を頂きま した。その差はなにか自分なりに考えるとやはり面接が大きな要 因だと思いました。

双方の大きな面接の差は、自分自身の欠点な部分を伝えたかど うかです。合格した千葉県警では欠点な部分を伝えました。

面接官も人間なので人の自慢話を聞くよりも失敗した話や恥ず かしかった話をきいてその人に共感できるものだと思います。

だからこそ、これから受験する人たちは自分の欠点を恐れずに 伝えることも一つの手かもしれません。

▶ これから受験する人へのアドバイス

私は、勉強が本当に苦手です。TACの基本演習などを受けて も結果は中の下辺りをさまよう程度でした。そんな私が、内定を 頂いた最大の理由は自分が他の受験者に勝てるところはどこかを 常に考え努力したからだと思います。

勉強というものは元々もったセンスがすくなからずあるのは事実 だと思います。

しかし、なかには知っていれば簡単に解ける問題や努力すれば 点が伸びる分野もあります。そこをいかに見つけるかが重要だと 思います。

最終の発表まで辛く厳しい時間か続くとおもいます。合格を勝 ち取るためには自分自身を見つめなおして頑張るしかありません。 健闘を祈ります。



いざ行かん警察へ

最終合格先

警視庁警察官 I 類·京都府警察官 A

長谷川 允希 さん 立命館大学 法学部 (在学中合格)

受講コース

メディア

校舎

総合本科生

教室講座 6月入学

京都校

▶警察官を目指した理由

幼い頃から憧れていたことに加え、仕事を選ぶ上で「目の前の 人の役に立ちたい という思いから警察官を目指すようになりまし た。ほかにも人の役に立つ仕事はたくさんありますが、体を動か すことやあくまでもお金儲けのための商売ではないという点も私 には合っていました。単純にかっこ良いですしね。(笑)

► TAC を選んだ理由

怠けてしまいそうで独学や通信ではなく、予備校に通うという ことは決めていました。説明会を聞きに行き熱心に答えてくれたこ とやフォロー制度が充実していたこと、TACの立地も私には良かっ たです。また、担任講師が試験の情報や勉強方法などに詳しい ので、相談すれば大変頼りになる存在だったことも大きかったです。 実際担任講師に相談をして良かったです。

▶面接対策について

面接は筆記や論文と違い、柔軟性がより重要だと私は考えま す。志望動機など就職における根本的な質問は暗記するくらい考 えたり言ってみたりすると思いますが、こういった質問も柔軟に伝 えられるようにするべきです。暗記したけど、当日途中で詰まって しまって何も言えなくなったなんて最悪です。一言一句覚えるのは 止めましょう。また、一次試験が終わってからですが、日頃からこ ういう質問にはこう答えようかな、こう答えたらこんな質問がくる かな…と考え、まとまったらメモしていたことが役に立ったと感じ ています。面接対策テキストを見ながらでも、頭の中で、一人で面 接風の会話をすることが私の柔軟性を生み出したと思っています。 TACでは模擬面接が出来、当然2、3回利用するのは前提ですが、 実際の面接時間はもっと長く、TACの模擬面接で面接が完璧に なりました!というのは正直無理かなと私は思います。根本的な質 問に対する回答や自分の緊張する度合い、姿勢・態度が客観的 に見てどうなのかを見てもらえば十分でしょう。もちろん講師は皆 さん優秀なので模擬面接だけでなく、質問時間に面接について聞 くのも大いに役立ちました。

▶苦手科目の勉強法

試験の範囲はとても広く、苦手な科目がない人はほとんどいな いでしょう。数的処理と文章理解は出題数が多く、ある程度解け るようになれば得点源にもなるので、数をこなして最後まで諦めず に練習するべきでしょう。数的処理に限って言えば、苦手ならV 問題集 10 周解くくらいの気合は持ってください。数をこなせば何

か見えてきます。その他の科目については、いっそのこと捨てる 勇気をもってもいいでしょう。完全に捨てても良い科目もあるかも しれませんが、その科目の基礎中の基礎だけは覚えるというほう が、効率が良い気がします。もちろん捨てた分は他の得意な科目 で絶対に取るというのが大前提ですよ。本題の克服法ですが、苦 手科目について何が分かっていないのかを自分が理解しているの かが重要だと思います。公式を覚えていないのか、勉強時間が足 りないのか…。何が分からないのかが分からないのであればすぐ 講師に質問しましょう。何度でも質問してください。分からないこ とが分かればどう勉強したら良いのか分かるはずです。克服をした いのなら、数と質問です。

▶これから受験する人へのアドバイス

試験勉強を始める時期は早ければ早いほど良いです。しかし、 やる気と根性があれば受験する年の1月から勉強を始めて合格し た人もいますし、いつから始めてもやれないことはないと思います。 1月からで良いというわけではなく、おそらく皆さんは早めに試験 勉強を始めるでしょうから、十分間に合うということです。部活や アルバイトなどで忙しい人もいるでしょう。でも私の周りの試験仲 間を見ればそんな人ばかりですが、しっかり合格しています。不安 になるぐらいならそんなことは考えずに勉強しましょう。TACにしっ かり通い、担任講師に自ら質問しにいけば、おのずと受かる実力 は付いています。将来を決める大事な試験です。健闘を祈ってい ます!



法政大学 法学部

(在学中合格)

強い志を持って

最終合格先

警視庁警察官 I 類·千葉県警察官 A

受講コース

メディア

校舎

総合本科生警視庁 Plus

教室講座 4月入学

水道橋校

▶警察官を目指したきっかけ・理由

私が警察官になりたいと思い始めたのは小学校低学年の頃です。実家の近くに駐在所があり、そこのお巡りさんがとても親切にしてくださったことがきっかけでした。学校帰り、駐在所の前に立つお巡りさんに敬礼をすると必ず笑顔で敬礼を返してくださり、それが嬉しくて何度も駐在所の前に敬礼をしにいったのを覚えています。その時に抱いた、かっこよくて優しいお巡りさんになるという夢は何年たっても揺るぐことはありませんでした。

► TAC を選んだ理由

もともと警察官以外の道は考えていなかったので、3年生になったら警察官講座のある予備校に行こうと決めていました。様々な予備校を調べ体験授業にも参加し、他の予備校と比較したうえで私はTACを選びました。

TACを選んだ理由としては、まず体験講義での講師の説明が分かりやすかったということです。授業で理解しきれないところも、授業後などに個人的に質問に行くと、先生方が分かるまで熱心かつ丁寧に指導をしてくださいます。ありていに言うと、講師の質が良いところ、これがTACの良いところだと思います!

▶教養試験対策

教養試験はとにかくどの科目も(授業を受ける→授業の記憶が新しいうちにその授業範囲の過去問(V問題集)を解く)という流れを徹底していました。過去問を解く際には、間違えた問題に印をつけておいて、印のついているものは何度も解くようにしました。そうすると、その科目の授業が終わるころには、その科目の過去問を網羅できていることになるので、次の科目に取り掛かりやすくなります。

そして何より大切なことが「分からない問題をそのままにしておかない」ということです。私は数的処理と自然科学が苦手で、講義だけでは理解できないこともありましたが、そういった場合は必ず授業後や講師の空いている時間などに質問をしに行きました。そうすることで分からない問題が減っていき、苦手も克服できたのではないかと思います。

▶論文試験対策

私は昔から文章を書くことが好きだったので、文字で物事を表現するということ自体は苦になりませんでした。しかしながら、論文は整った文章が書けたからと言って良い点数がもらえるとは限りません。その論文の課題から出題者の意図をくみ取り、それに沿ったレスポンスをしたうえで自分の考えを述べ伝えることができて初めて論文は価値を持ちます。したがって、論文を書く上では、出題者から求められているのは何なのかということをしっかりと受け止め、それに沿った論文内容にすることが重要です。できるだけ様々な種類の論文課題に挑戦し、添削を受けることで、要求された課題内容を正しく受け止める力が身につくとともに、それに対しての相応しい論旨をまとめる力も伸ばすことができます。

▶面接試験対策

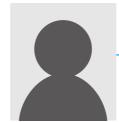
面接とは、自分の考えを一方的に述べるのではなく、面接官と の対話を通して自分の考えや人間性を伝えていくものです。

TACで面接指導を受けるまでの私は、一方的にただ自分の考えをぶつけることが面接であると考えていました。しかしながら、たくさん面接練習を積み、時には厳しい評価を受けながら、そのなかで面接とは独りよがりではうまくいかないものなのだと気づきました。すなわち、面接において大切なことは、客観的で適切な評価を受け、それを次に活かしながら繰り返していくことです。机上で準備するだけでは面接は上達しません。積極的にTACの実施している模擬面接に取り組み、自分のつまずきに気づくことが重要です。

▶これから受験する人へのアドバイス

私は物心ついた時から今に至るまで、ずっと警察官になるという志を抱いてきました。しかし正直なところ勉強はあまり好きではなく、警察試験の勉強を始めたころは長時間机に向かうことが苦痛だったのを覚えています。しかしTACには同じ夢を目指す仲間や、サポートしてくださる先生方がいます。このような環境があったからこそ、私は強い志を持って試験勉強を続けられたのだと思います。

皆さんも勉強を続けていると辛くなることや投げ出したくなることがあるかもしれません。そんな時は周りを見渡してください。一緒に頑張る仲間と、応援してくださる先生がいるはずです。努力は裏切りません。強い志を持って頑張ってください!



大東文化大学 法学部

(在学中合格)

憧れの仕事

最終合格先

東京消防庁消防官 I 類

加藤 太一 さん 受講コース

メディア

校舎

東京消防庁本科生

教室+個別DVD講座

横浜校

▶消防官を目指したきっかけ・理由

私が消防官を目指したきっかけは東日本大震災です。被災地で 救助活動を行う姿に感銘を受け、将来人の助けになる仕事がした いと強く思うようになりました。被災地では自衛隊、警察、消防 と様々な組織が救助活動をしていました。そんな中、福島原子力 発電所での、放射線の危険にさらされながらも果敢に冷却活動を 行う姿を見て、絶対に東京消防庁の職員として働きたいと強く思 うようになりました。

▶TAC を選んだ理由・きっかけ

いくつかの予備校の説明会に行き、ホームページでも情報を収集しましたが、TACは最も熱心に説明をしてくださり、その場で疑問に思っていたことにも全て答えていただきました。また、教室講義に出席することが出来なくてもDVDで自分のタイミングで受講でき、重複受講も可能でよりしっかり知識を定着できるシステムに魅力を感じました。

▶論文試験対策

私はとにかく添削を多くしてもらいました。はじめの頃は自分自身では手ごたえのある論文でもかなり修正が入っていました。自分の論分がどのような出来なのかを客観的に評価してもらうことで次直す箇所が見つかりますし、よりよい論文がかけるようになると思っています。またなるべく多くのテーマに触れておくことで、本番の試験で類似のテーマが出題されたときに不安な気持ちにならずに取り組めますし、引用できる部分が見つかるかもしれません。論文は教養試験と一緒かそれ以上の配点の自治体も多いので対策をおろそかにしないことが大切です。

▶面接試験対策

まず自分の学生時代の経験やエピソード、志望理由などを箇条書きで書き出し、それに少しづつエピソードを肉付けしていきました。面接を経験して感じたのは長所の時はこれを言おう、短所の時はこれを言おうと細かく決めていくのではなく、言いたいことのタイトルと要点を頭に入れておく程度の方がいいと感じました。長所を教えてくださいという質問の答えた後も細かく内容について聞いてくるのでそれに柔軟に対応できるようにしておくことが大切です。

面接はどの自治体でも非常に配点が高い重要な試験です。自 分の警察官や消防官への思いをしっかりと伝えることが出来れば きっと面接官にも納得してもらえると思います。

▶苦手科目克服法

全ての科目に共通のことですが、苦手科目においては最優先で、とにかく授業をしっかり聞き、軽くでもいいからその日のうちに必ず復習をすることだと思います。私は帰りの電車の中でレジュメを読み返し、問題の解き方の確認や先生が仰っていたことを思い出していました。当日に復習をすることで翌日もう一度見返した時に授業での先生の言葉や映像が鮮明に浮かび上がってきて2度目3度目としっかりと問題を解くことが出来自信につながりました。苦手科目なのではじめは面倒であったり、時間がかかってしまうかもしれません。ただ本当に効果は大きいと思っています。出来るかもしれないという気持ちになった後は解ける問題も増え苦痛に感じなくなってくるので、とにかく当日中の復習が大事だと思っています。

▶これから受験する人へのアドバイス

まず自分の受けたい自治体の科目の配分を調べることです。消防でも東京消防庁と政令指定都市では全くと言っていいほどに違います。予備校のホームページなどに一覧が記載されているので必ず確認をすることが必要だと思います。

私はTACの教材しか使用しませんでした。はじめの頃は不安な気持ちもあり市販の問題集も購入しようかなと思ったこともありました。ただ一生懸命勉強するにつれ、教材だけで十分だということが分かるようになってきましたし、何周もすることで絶対の自信を持ち当日の試験に臨むことが出来ました。公務員試験は非常に科目数が多く、特に文系の人にとっては初めの一歩が踏み出しにくいかもしれませんがそこさえ突破できればぐんぐん成績は伸びていくと思っています。絶対に合格したいという気持ちとやりたい仕事を思い浮かべ、モチベーションを保ち頑張ってください。応援しています。



部活動との両立

最終合格先

東京消防庁消防官Ⅰ類

榊 梨花 さん 中央大学経 済学部

(在学中合格)

受講コース

校舎

入門付総合本科生東京消防庁 Plus 教室 + Web フォロー講座 5月入学

立川校

▶消防官を目指したきっかけ・理由

高校時代から人の命を救う職業に興味がありました。大学に入 り、実際に自分が救急車で運ばれ救急隊員に助けられたことが きっかけで消防官になり救急隊として人の命を救うことに貢献す ることを目指すようになりました。自分が経験したように、迅速な 対応で傷病者に安心感を与えられるような消防官になることが夢 となりました。また、消防官には様々な職種があり、現場や事務 型などいろいろなことで貢献できるチャンスがあるのでそこにも魅 力を感じました。

► TAC を選んだ理由

部活動をしており勉強時間に限りがあったため絶対に予備校に 入ろうと考えていました。そして大学3年生の時に部活動の一つ上 の先輩にTACをお勧めされ、体験講義に行きました。体験講義 での講師の分かりやすい教え方と質問にも優しく対応して頂いた ことと、カリキュラムが自分に合うと思いTACを選びました。また、 他の予備校のテキストと見比べて、TACのテキストは分かりやす かったので決め手になりました。

▶教養試験対策

東京消防庁は理系科目の割合が多いので、数的処理と自然科 学に力をいれました。特に数的処理は落とせない科目なのでほぼ 毎日触れるようにしていました。V問題集を何週も繰り返して解き ました。自然科学は文系で中学卒業以来触れていなかったので苦 手意識がありましたが、一番取り掛かりやすい生物→物理→化学 の順に取り組み、徐々に理解していきました。数的処理と自然科 学は担任講師の科目で、とても分かりやすいので講義内で理解す るようにしていました。分からないことはその日のうちに質問して 解決するようにしていました。あとは直前の東京消防庁特別対策 があるので是非受講することをお勧めします。

社会科学は何回もWebで講義を聞いてレジュメで勉強しまし た。授業の小テストや模擬試験で出てきたものとそれに関連する ものをその都度V問題集でチェックして覚えていました。

人文科学はあまりやるべきではないけど日本史だけに絞りまし た。部活動で時間も限られていたので人文科学以外で点を稼ごう と割と早い段階で決めてしまいました。

文章理解は現代文毎日5題と英語3題を繰り返していました。 慣れもあるので毎日少しずつ触れることが大事だと思います。あと はあまり時間がなかったので通学時や帰りの電車で時事問題をひ たすら読んでいました。

本番1週間前からはひたすら東京消防庁の過去間を解き、出題 傾向と時間配分を頭と体にしみこませました。すべての科目で言 えますが、テキストは全てTACでもらうもので大丈夫です!他に 買って教材を増やす必要はないと思います!

▶面接試験対策

メディア

論文は割と得意だったので講師の授業をしっかり聞いて、書き 方のパターンや言葉の使い方を頭に入れました。苦手な人でもパ ターンがあるのでそれを覚えれば大丈夫だと思います。論文でも 教養でも重要だと思ったのは情報量です。自分が行きたいところ の情報を知らないと良い論文は書けないし、出題傾向などの情報 がないとかなり不利だと思います。TACの授業を受けていれば情 報量に困ることはないと思います。

▶TAC 教材について

それぞれの科目でV問題集とVテキスト、授業で配られるレジュ メがあります。レジュメは細かい内容で分かりやすく書かれている ので、レジュメで勉強してからV問題集で数をこなしていました。 本当にTACで配られる教材だけで大丈夫です。

▶これから受験する人へのアドバイス

毎日朝起きて今日もまた勉強か、と嫌になることもありますがそ んな時は志望先のパンフレットを見たり、説明会に行ってみたり してモチベーションを上げることが大事だと思います。絶対に合格 するぞという強い気持ちで臨みましょう。4年生は学校の試験や、 部活動で忙しいと思いますが自分なりの計画をたててTACを最大 限活用して頑張ってください。



憧れの仕事への第一歩

最終合格先

京都市消防局上級消防職A·京都府警察官A

橋本 東幸 さん 龍谷大学 社会学部

(在学中合格)

受講コース

メディア

校舎

総合本科生

教室+個別DVD+Webフォロー講座 10月入学

京都校

▶消防官を目指したきっかけ・理由

私が消防官を目指した理由は、小学校の頃に消防署に社会見 学に行き、そのときに見た消防士の方の人の命を救うための姿勢 を見て消防士はかっこいい仕事だと思いました。それに私は昔か ら困った人を助けることが多く、就職のことを考えた時に困った 人を救う仕事をしたいなと思ったからです。私はそれで消防士を志 望しました。消防士は災害や火災などの人命救助が必要な場合に 対して、一番早い時点で救助できるのが消防士だから消防士を目 指しました。また、命を救う仕事をしたいと考えた時に、どんな 仕事でも人を助ける仕事ではありますがそれは命あってのものだか ら、命を救う仕事につきたいと考えた時に、消防士という仕事が 自分にはあっていると考え消防士を目指しました。私は小さい頃か ら体を動かすことが好きということもあり、消防士は日ごろからト レーニングをするので自分は消防士になりたいと思う気持ちが強 くなりました。

▶TAC を選んだ理由・きっかけ

自分は消防官になりたいと思った時自分だけの力では無理だと 考え予備校を探しました。きっかけは母親の知り合いの方が TAC を勧めてくださったからです。色々な予備校も調べたし話も聞きに 行ったりはしました。その中でもTACを選んだ理由は、見に行っ てみると教室や事務員の方の説明が丁寧だったのでTACに決めま した。

▶教養試験対策

教養試験では1番大切なのが数的処理だという説明をしていた だいたので毎日問題はやっていました。京都市消防局は文章理解、 数的処理、時事問題しか出ないので特に数的処理には力を入れ ました。しかし、私は京都市消防局以外にも京都府警察や東京消 防庁も受ける為に自然科学や人文科学、社会科学も勉強しなけ ればならなかったので大変でしたが、毎日少しずつやっていくこと で覚えていくことができ、試験ではある程度は点数も取れました。 数的処理だけに力を入れるのではなくしっかりと色々な勉強を幅 広く勉強していかないとならない思います。また、私は時事問題も 勉強をするべきだと考えます。京都市消防局は5問しか出ません がちゃんと勉強すれば2、3問は取れる問題があるので、京都市 消防局を受けるなら時事問題もやっておくべきだと考えます。

▶講師について

私が通っていた京都校では講師の方々がすごく丁寧に教えてく れるし、講義で分からなかったことは質問しにいけば絶対に教え てくれる講師ばかりでした。また、問題によってはどこが分からな いかを言うことで、きちんと説明してくれるので分からない部分を しっかりと理解さしてくれるので自分が色々な問題に対応出来るよ うになっていくようになります。また、教養試験以外にも面接対 策にもしっかりとした対策もしてくれるし、生活面の相談にも親身 になって聞いてアドバイスをくれる先生ばかりです。

▶これから受験する人へのアドバイス

私は3回生の10月からTACに通ったため正直遅い方だと思うし、 教養の勉強は大学に入ってからしてこなかったので初めは本当に 何も分からなくて苦労をしました。しかしそこで諦めるのではなく 講師に相談したり少しでも大学の授業の合間などでも勉強をして いくとだんだんと分かっていくので諦めないことだけはしてほしく ないです。また、冬休みや春休みにはずっと勉強するぐらいの気 持ちでやって欲しいです。自分は一生これからしていく仕事だと考 えるとたかが1回くらいの休みを棒に振ってもいいと思えたので勉 強を続けることが出来ました。また、たまにはストレス解消として 1日何も勉強をせずに遊んだりすることも大切だと思いました。あ とはストレス解消に運動として走ったりすれば体力試験の時に役 立つと考え、週に何回かは走ったりもしました。受かったからこそ 言えることですが、自分が消防官に受かったことは運やタイミング もあったと思います。しかしそれは自分が消防官に絶対になると いう気持ちがあったからこそだと考えるのでこれから受験する人は 絶対に諦めずに頑張って欲しいと思います。



山崎 和也 さん 創価大学 経済学部

挑戦と成長、さらにその先へ

最終合格先 横浜市消防局大卒程度

受講コース

校舎

総合本科生東京消防庁 Plus 教室 + Web フォロー講座

立川校

▶消防士を目指したきっかけ・理由

私が消防士を目指した理由は一人でも多くの人を救える救助隊になりたいと思ったからです。実際にヘリコプターから救助をしている現場を目撃したことや東日本大震災の消防士による救助活動を見て、「自分もいつかあのような方々のようになりたい」と思ったことがきっかけです。現役で働いている消防士の方々の話を聞いたり、防災イベント等で交流したりすることで映画やドラマ以上に消防士の仕事に魅力を感じるようになりました。

► TAC を選んだ理由

私がTACを選んだ理由は、担任講師制度やWebフォローがついていたからです。わからないことや質問等を担任に聞けることや講義の復習が何度でも繰り返しできるところが決め手でした。最初は独学で勉強していましたが、独学では限界を感じ、TACの説明会と体験授業に参加しました。講義も受けやすく、自習できる環境も整っていたのでそのようなところにも魅力を感じました。

▶教養試験対策

私は数的処理をかなり勉強しました。V問題集や講義レジュメの一周目がわからなくても、答えを見て理解を深めた後に二周、三周しました。ただ、あまり偏らないように一週間の曜日ごとに自然、社会、人文科学を勉強しました。特に数的処理は得意であっても本試験で取れるとは限らないと思い、他の科目も同じように何周も復習しました。また、時事問題は他の教養科目と一緒に絡めて出題されることもあるので、重要なところをチェックしました。

▶論文試験対策

教養試験対策以上に論文対策の方に多く時間をかけたかもしれません。ほとんどの自治体が論文試験の配点比率が高いのが特徴です。論文試験では、いくら多くの情報を持っていたとしても文章の書き方がおかしく採点者に伝わらなければ、採点してもらえません。文章の書き方から、主語・述語、接続語や時制など注意し、かつ論理的にまとまって書いているかを意識して論文を書きました。私も最初論文を書くのは苦手でしたが、講師や担任に添削していただき、回数を重ねて書き続けることで、模擬試験や本試験ではすらすらと書けるようになりました。論文試験対策をしておけば、エントリーシートの志望動機・自己PR欄も容易に書けるようになるので、ぜひおススメします。

▶面接試験対策

メディア

面接試験対策は最も対策に時間や手間がかかると思います。志望動機や自己PR等の項目や経験を基にしたエピソードなど分析することが多くなります。また、これらが「どのような部分が消防士に向いていると思うか」「今後消防士としてどう活かせるか」など、さらに分析する必要があります。特に出身地と受験する自治体が異なると面接官は志望理由を聞いてきます。さらに、その自治体の特徴などを質問してくる可能性も極めて高いです。そうなっても、しっかりと面接官を納得させられる回答が必要だと私は思います。私は面接練習において、志望動機ややりたい職種等を自分自身の経験を基にして、ありのまま答えました。受験先の自治体の情報の調査や消防署・防災センターの見学にも積極的にしました。面接では完璧な回答はできないと思いますが、面接官との会話を意識すれば、本番は緊張がかなり軽減できます。

▶ これから受験する人へのアドバイス

一般的に世間の人達は「消防士は倍率が高いから狭き門だ」という声を聞くことがありますが、私はそうは思いません。採用試験なので倍率はありますが、結局は自分自身の本試験の得点で決まります。試験を受ける前から不安になる方もいることでしょう。ですが、試験においては自分自身がやるかやらないかの二択だと私は考えています。その決意と覚悟を先に決めて、本試験が終わるまで「やりきった」と言えるまで勉強と対策をし続けてください。そうすれば、後悔のない結果が出てくるはずです。私もそのように勉強してきました。本試験が終わった後は後悔がないように全力を尽くしました。勉強いていて気が乗らない時もあります。そんな時に無理して勉強しても、身に入らないと思うので、消防関係の映画・ドラマや雑誌等を見て気分を入れ替えていいと思います。試験対策だと思って、消防署・防災センターや出初式に参加してみてください。今後の試験に役に立つことばかりが必ずあります。

みなさんがこれから立ち向かうべきは、試験の恐怖や不安です。 私もこれらに悩まされてきましたが、この試験勉強・対策を通して 乗り越えることができました。みなさんも必ず乗り越えられます。 なので、勇気と自信を持って試験勉強・対策を取り組んで行ってく ださい。そして、乗り越えて合格を勝ち取りに行きましょう。



宮澤 拓也 さん 日本体育大学 体育学部 (既卒)

講師、仲間とともに

最終合格先

横浜市消防局大卒程度(2位合格)

受講コース

メディア

校舎

東京消防庁本科生

教室+Webフォロー講座 12月入学

横浜校

▶消防官を目指したきっかけ・理由

中学生の頃に、オレンジの服を着た消防官が、災害現場で救助活動をするのをテレビで見ました。そこで、危険と隣り合わせの状況にも関わらず、人命救助のため一生懸命に活動する姿に、憧れを抱いたのがきっかけです。

進路を決める時に、教員という別の道も考えていました。しかし、災害から命や財産を守る消防官は、体力に加え、様々な知識や能力が必要とされます。それらを身に付け、多くの命や財産を守ることが出来たら、私にとってこれ以上ない誇りを得られる思い、決意しました。

► TAC を選んだ理由

私は大学在学時に独学で勉強していましたが、合格を得ることが出来なかったため、予備校に通いました。TACを選んだ理由としては、担任講師制度があったからです。些細な不安や悩み事でも相談しやすい環境にあり、講師と受講生の距離が近いのが魅力だと思います。私自身、とてもお世話になりました。時に励まされ、時に厳しい事を言われた時もありましたが、講師の熱意と講師への信頼があったからこそ根気強く取り組むことが出来ました。

▶教養試験対策

教養試験については、TACのレジュメやテキストを繰り返し何度も解き、自分が納得できるまで取り組みました。そのため、教養試験ではある程度の点数はとることが出来ました。しかし公務員試験は勉強する範囲が広いため、効率よく勉強を進めることが大切だと思います。そこで受験する自治体の出題傾向を調べた上で、得点源となる科目に重点を絞るようにしました。そしてTACの模試などを積極的に受験し、本番を想定して時間配分や解く順番を考慮し、自分に合ったスタイルで本番に臨みました。

▶論文試験対策

私は、論文を教養よりも重視していました。というのも、昨年は教養で高い点数を取れていたのにも関わらず、論文がうまく書けずに落ちてしまったからです。そこで今年は論文に力を入れて対策をしてきました。具体的には、週に2~3枚は論文を書き、添削指導を受けたり、講師に見てもらったりしました。また、友人とも定期的に見せ合うことで、他の人の考えや意見を参考にしました。そのおかげで、論文に苦手意識があったのですが、試験本番では自信を持って書けるようになりました。

教養と異なり論文に正解はありませんが、自分の考えを表現するという点で面接にも活きてくるため一層重要だと感じました。

▶面接試験対策

面接は公務員試験において最も重要な試験だと思います。私は面接で2回落とされたこともあり、面接への不安は大きかったです。面接に関しては、ほとんど練習せずに本番に臨む人もいれば、納得するまで練習する人もいるため、人それぞれになってくると思います。私は模擬面接を何度かしましたが、特に心掛けたのは行動することです。受験する自治体に自ら電話して消防署を見学させてもらうなど、積極的に行動しました。もちろんそれらが面接に直結するわけではありません。しかし普段見られない訓練を見れたり、現職の方とお話する中で、新たな発見を得たりすることが出来ると思います。こうして体験したことは志望動機などに活かせるかもしれません。そして何よりも面接に向けて気持ちを高めることが出来ると思います。

▶これから受験する人へのアドバイス

私が合格を目指す上で大切だと思うのは仲間です。昨年、私の周りは皆就職が決まったにも関わらず、私自身は就職が決まらなかったため落ち込んでいました。そんな時、TACで同じ気持ちを持った既卒の仲間と出会えたことで、諦めずに続けることが出来ました。その仲間とは定期的に勉強会を開いて、論文を見せ合ったり、情報を交換したりするなど、常に支え合い、切磋琢磨してきました。

仲間と目標に向かって行動することは消防官においても同じだと思います。これから受験する人は、ぜひTACを通じて同じ志を持った仲間を作り、共に支え合いながら合格を目指してほしいと思います。そして、受験生と同じかそれ以上の熱意を持った講師がTACにはいますので、強い気持ちがあれば必ず合格を掴みとることが出来ると思います。ここは通過点です。その先の自分の姿をイメージして頑張ってください。



挑戦

最終合格先

山口県警察官A

池田 康太 さん 甲南大学 法学部 (既卒) 受講コース

メディア

校舎

総合本科生

DVD通信講座

▶警察官を目指したきっかけ・理由

高校・大学でのラグビー部で支えられた経験から、私も人を支える仕事がしたいと思っていました。しかし就職活動時は、なんの仕事がしたいのか明確になっていないまま民間企業を中心に行なっていたため、悩みながら行っていました。そんな時に、大学4年時に警察官に勇気づけられたことをきっかけにして、私も警察官となって住民の方の支えになりたいと思いました。また、7年間のラグビー部での経験や長所を活かし、地元山口県のために貢献したいと思い、山口県警に決めました。

► TAC を選んだ理由

上述した警察官を目指したいと思った時期は夏頃で、昨年は受けることができませんでした。内定をいただいていた企業があったのですが、警察官になりたいという思いが消えなかったので、両親とも話し合い内定を辞退して就職浪人の決断をしました。そこで今年絶対受かるために両親とも相談し公務員学校に通うと決めました。TACに通われていた方から話を聞いたり、神戸校に行き体験授業や受付の方と何回も相談させていただいて真摯に対応していただいたことから、TACに決めました。部活を引退後は山口に帰ることが決まっていたので通信にしましたが、授業もわかりやすく面接対策も通学の方と同様に受けれていたので特に不便はなかったです。TACに通ってよかったと思っています。

▶論文対策

山口県警は少年非行やDVなどいま社会問題になっているようなことが問われます。40点満点で字数は800~1000字程度です今年は自転車を利用する上での問題と対策でした。論文は実際に何回も書いてみることが大事だと思います。県警のホームページに警察の活動内容が書いてあるので、それを中心に項目を10個ぐらい書きました。書いて添削してもらい、やり直してを繰り返して自分の書き方を固めていました。本試験では、やっていた中の自転車が本番で出ました。幅広くやっておくと試験前に自信を持って試験に臨めると思うので頑張ってください。

▶面接対策

山口県警の試験では、面接・集団討論で、140点満点なのでここが 1番大事だと思います。集団討論は積極的に参加すること 相手の方を向いて頷きながら、しっかり相手の話を聞くことが大切かなと思います。私は、本番ではメモはあまりとらず相手の話を聞いて、それを理解し適切な意見を言うことを大切にしてました。面接は個人面接で20分程度で、1対4でした。基本的に面接カードの中から聞かれます。面接で大切なことは相手の目を見て大きい声で、自分の言葉で思いを伝えることだと思います。私は昨年受けてないこともあるので、圧迫面接で詰まることも少しあったんですけど端的に面接官と会話をする感じで自分の言葉で正直に話すことが改めて大事だと思いました。山口県警を受けた後輩は圧迫面接じゃなかったみたいです。私は面接練習は、何回も自分に自信がつくまでしっかりやった方がいいと思います。本番では一回全部忘れ

て面接官をいい人と思って、自分に自信を持って頑張ってください。

▶筆記試験について

私は筆記試験では捨て科目も作ってましたが、その分他の科目を徹底 的にやっていました。これが正しいかはわかりませんが、参考にしてくだ さい。世界史 化学 物理 古典 文学 芸術は捨てました。数的処理は最初 の頃はかなり苦手でしたが、1番重要な科目なので授業を受けて復習と 実践の繰り返しを何度も繰り返しました。わからなくなった時は、もう一 度授業を受けてインプットとアウトプットを繰り返し行いました。問題は TACでもらった問題を何度も何度も繰り返して、パターンと解き方を覚 えていきました。最初は苦労する人も多いと思いますが、私の場合は2.3ヶ 月続けていると急に解けるようになり、本番でも9割は解けたと思います。 数的処理は本番では解く時間がかかるので、日頃から、時間を決めて取 り組むことが大事です。例えば1時間と決めて本番と同じように、数的 推理5問 判断推理6問 空間把握3問 資料解釈2問に取り組んでみる ことも大事かなと思います。文章理解は英語が苦手だったので、現文に 力を入れてました。英語は県警は警視庁とかに比べて短文なので、得点 しやすいと思うので取れれば大きいと思います。暗記科目については、 基本的に授業を受けて問題も解いての繰り返しです。何回もやっている と回答を覚えてくるので、そこまでやれば意味があまりないと思ったので、 レジュメの語句を徹底的に覚えてました。私が取りやすいと思ったのは、 政治 法律 経済 思想 地学 生物 日本史です。自然科学は文系で物理 化 学は全くわからなかったので捨てました。地学も始めてで、一問しか出ま せんでしたが、範囲も狭くほぼ暗記なのでやれば取れます。人文科学は、 基本的に高校の時にやっていた科目を始めにやることをオススメします。 私は日本史をやりました。人文科学は本当に範囲も広いので深入りしな いということが大事です。私は時代ごとにまとめて、重要なことは覚えて あとは流れを大切にしてました。思想は一問ですが、範囲が狭いので得 点しやすいです。地理は重要なとこだけ覚えてました。私は英語が苦手 だったので、地理 日本史に取り組みましたが、その他の科目でカバーで きるならここは一つでもいいかなと思います。試験当日から逆算して、そ の科目の配点と何で点を取って何を捨てるかということを考えることが大 事かなと思います。

▶ これから受験する人へのアドバイス

山口県警の最終合格は2次試験の結果で決まります。上記で、面接筆記 論文について書かせてもらいましたので、ここでは体力について書きます。体力テストは60点満点です。上体起こし 反復横跳び シャトルラン 握力 関節運動があります。関節運動は正しく動くか確かめる程度です。シャトルランは100回で満点です。私は22人でやって、100回まで行った人が私を含め5人だけだったので、シャトルランで1番差がつくかなと思います。他のグループも最後まで行った人はそのぐらいだと聞きました。上体起こし 握力 シャトルランは毎日継続してトレーニングすれば、必ず力はつくと思うので頑張ってください。

Memo
•••••
•••••
••••••
•••••
•••••
•••••
•••••
•••••